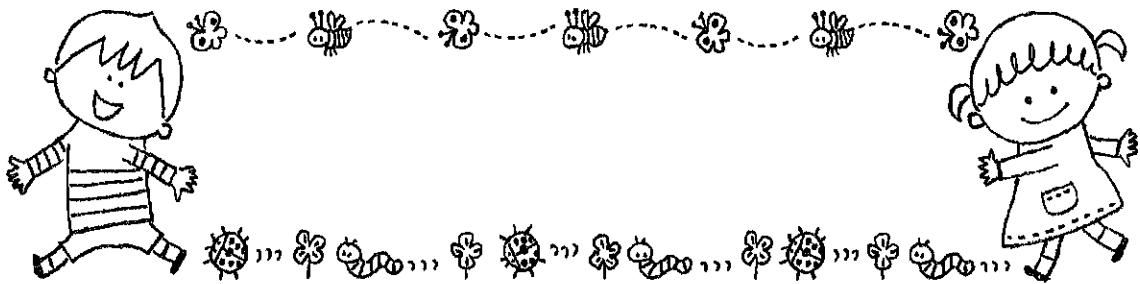


平成30年度

事業計画書



社会福祉法人 公正福社会

しらゆり保育園

なみおか子育て支援センター

目 次

・ 社会福祉法人公正福社会の理念	1
・ 平成28年度の活動方針	1
・ I 法人運営	2
・ II 経営する社会福祉施設及び事業	2
・ III 施設運営(保育理念等)	2
・ III 施設運営(児童の処遇等)	3
・ III 施設運営(保育士定数算定表)	3
・ III 施設運営(年間行事予定)	4
・ III 施設運営(健康管理)	4
・ III 施設運営(安全管理)	4
・ III 施設運営(栄養管理)	4
・ III 施設運営(職員の処遇)	5
・ III 施設運営(健康管理)	6
・ III 施設運営(研修計画・各種会議)	6
・ III 施設運営(施設事業管理)	7
・ III 施設運営(避難訓練等)	7

平成30年度 事業計画書

《社会福祉法人公正福社会の理念》

良質な保育サービスを迫及し

利用者の最善の利益と人権を守ることで

地域の教育・福祉に寄与します。

《平成30年度活動方針》

保育園開設以来39年が経過し、少子高齢化や人口減少社会の中で、地域の保育ニーズが変化しております。平成30年度は社会福祉法人として、上記の法人理念がしっかり実行されているか検証しながら、保育園から幼保連携型認定こども園へのスムーズな移行、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に伴う対応と理解に努めます。特に教育の働き、養護の働きを正しく把握します。又、多様化する地域の保育ニーズに誠実に、勤勉に対応し、認定こども園の事業運営を行っていくものとします。

子ども子育て支援新制度から4年目を迎え、三年後の園舎改築事業を視野に入れながら、地域の認定こども園として真摯な教育、保育に努めます。

I 法人運営

1 役員 (任期：平成29年6月16日～平成31年度定時評議員会終結時)

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	石村 康弘	理事	對馬 家隆
理事	石村 文秀	〃	鳴海 一成
〃	加藤 文子	監事	阿部 哲
〃	石村 ヒサ	〃	工藤 圭

2 評議員 (任期：平成29年4月1日～平成33年3月31日)

大澤 公至	成田 忠久	岩谷 隆徳	小田桐 智毅
齋藤 憲法	藤山 祐一	今 一志	

3 評議員選任・解任委員会 (任期：平成29年4月1日～平成33年3月31日)

阿部 哲	長内 孝緑	石村 暢子
------	-------	-------

4 苦情処理第三者委員

阿部 哲(監事)、工藤 圭(監事)

5 理事会

定例理事会を下記の通り開催する。

- ① 5月：決算承認、事業報告、その他
- ② 9月：補正予算承認、各種規程改正、その他
- ③ 1月：補正予算承認、各種規程改正、その他
- ④ 3月：当初予算承認、事業計画、その他

* 上記の他、必要に応じて臨時会議を召集開催する。

6 評議員会

定例評議員会を下記の通り開催する。

- ① 6月：決算、事業報告の承認、定款変更の承認

7 監事の監査会

5月の決算理事会前に実施し、監事は理事長並びに評議員会、及び青森市長に監査結果を報告するものとする。

8 法人本部

法人本部の事務は、理事長石村康弘が担当する。

9 資金計画

保育園と子育て支援センターの通常経費は、運営費と私的契約利用料収入、經常経費補助金収入、雑収入、受取利息配当金収入でまかなう。

II 経営する社会福祉施設（定款記載に依る）

1 第二種社会福祉事業

- (1) 幼保連携型認定こども園 しらゆり保育園の設置経営（定員99名）
・所在地 青森市浪岡福田一丁目9番地6
- (2) 地域子育て支援拠点事業 なみおか子育て支援センターの設置経営
・所在地 青森市浪岡福田一丁目9番地6
- (3) 一時預かり事業（幼稚園型、一般型）

III 施設運営

1 園の目的

「明るい子、元気な子、考える子」を保育目標として、家庭や地域社会と連携を図り、乳幼児の健全な心身の発達を図ります。

2 運営保育方針

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び青森市幼保連携型認定こども園の設備に関する基準を定める条例その他の関係法令を順守して運営を行います。

3 保育目標

- ① 明るい子
- ② 元気な子
- ③ 考える子

4 児童の処遇

(1)園児クラス編成(30年4月当初：3月21日現在、1号認定2名含む。)

クラス名	年齢	児童数
ひよこ組	0才児	9名
こりす組①	1才児	10名
こりす組②	2才児	16名
うさぎ組	3才児	18名
きりん組	4才児	15名
ぞう組	5才児	15名
計		83名

保育士定数算定表（特別保育事業実施分含）

年齢区分	児童数	保育士の数
① 乳児(0才児)	3人につき	1人
② 1・2才児	6人につき	1人
③ 3才児	15人につき	1人
④ 4歳以上児	30人につき	1人
⑤ 主任保育士加算		1人

⑥ 休憩保育士加算		1人
⑦ 保育標準時間加算		1人
⑧ 地域子育て支援センター		2人
⑨ 産休・育休代替者		人

○保育士配置数

①0才児 $9 \div 3 = 3$ ②1・2才児 $26 \div 6 = 4, 3$ ③3才児 $18 \div 15 = 1, 2$ ④4才以上児 $30 \div 30 = 1$ ⑤主任保育士加算 1人 ⑥休憩保育士加算 1人 ⑦保育標準時間加算 1人 ⑧地域子育て支援センター 2人 ⑨産休・育休代替者 人 $3 + 4, 3 + 1, 2 + 1 + 1 + 1 + 1 + 2 + 12, 3人 \rightarrow 14, 5人$

現員保育士定数18名 (パート含む)

(2)年間行事予定(概要)

4月	入園式 保育参観① 父母の会総会 内科健診 歯科健診	10月	内科健診 歯科健診 お遊戯会①
5月	こども赤十字登録式	11月	お遊戯会②
6月		12月	保育参観③
7月	運動会 七夕 夏祭り	1月	お正月お楽しみ会・お餅つき会
8月	交通安全教室 お泊り保育	2月	節分
9月	保育参観② バス遠足 (年中・年長)	3月	ひな祭り会 お別れ会 卒園式 修了式

* 避難訓練、身体測定、お誕生会、交通安全指導は、毎月実施します。

(3)健康管理

園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう次の点に取り組む。

- ・日常養護と健康管理
- ・病気の予防と早期発見
- ・安全と事故防止
- ・健康増進と保健指導
- ・環境衛生

①健康診断 内科健診 年2回(小児科医 関場慶博)
歯科健診 年2回(歯科医 加藤伸生)

②発育測定 毎月実施

③手洗い、歯磨き指導、清潔検査 日常実施

(4)安全管理 交通安全指導は、毎月1回各種想定して実施、市職員による交通安全教室は、年1回実施。

(5)栄養管理 (PCソフトによる栄養管理)

加重平均食糧構成表

区分	穀類	いも類	砂糖類	豆そ類の及製品	種実類	緑野黄菜色	そのの野他菜	果実類	きのこ類	海藻類	魚介類	肉類	卵類	脱脂粉乳	牛乳	乳製品	油脂類	菓子類	調味料類	調理加工品
1~2才	40 g	25	3	20	2	30	40	50	2	2	15	10	15	15	100	15	3	10	5	10
3~5才	5 g	20	3	15	1	30	50	50	2	3	20	20	15	100	100	15	3	5	8	10

年齢別構成表及び給与栄養目標量(1人当り)

分	エネルギー kcal	タンパク質 g	資質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA μ gre	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	食物繊維 g	塩分 g
1~2才児	500	19	15	200	2	200	0,25	0,3	20	4	2,3
3~5才児	450	20	19	222	2,4	203	0,29	0,35	20	4	2,3

○給食指導

毎月の献立表等は、給食計画に基づき、関係者協議のうえ作成する。

○離乳食に関して

「離乳食の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1才児の食事に関しては、離乳食(完了食)後、間もないので個人によっては離乳食を準備していく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、早く解除できるように配慮していく。

○食育の推進

①給食のサンプル展示

子ども達が毎日、何をどれだけ量を食べているのか知ることにより、食育に関する親子のコミュニケーションを促す。保護者の理解を得るため給食試食会も検討する。

②自然との関り

野菜や果物の栽培や収穫を体験し、自分の口に入るまで、沢山の人の働きがあることを知り、食べることへの感謝の念をもつ。

5 職員の処遇

(1)職員構成 (30年4月当初 : 3月21日現在)

園長1名、主幹保育教諭1名、副主幹保育教諭2名、保育教諭15名(内パート3名)、調理員1名、嘱託医2名 学校薬剤師1名

平成30年度 職員構成

No.	職名	組別	クラス年齢	氏名	住所	備考
1	園長			石村 康弘	青森市浪岡	
2	主幹保育教諭			石村 暢子	〃	
3	副主幹保育教	うさぎ組	3歳児	佐藤 真紗子	黒石市	
4	〃	ぞう組	5歳児	山谷 智里	〃	
5	〃	うさぎ組	3歳児	小中 有沙	青森市浪岡	
6	〃	こりす①組	0歳児	長谷川 郁子	〃	
7	〃	ぞう組	5歳児	奥崎 望	〃	
8	〃	支援センター		工藤 瞳	〃	
9	〃	うさぎ組	3歳児	福士 裕紀乃	黒石市	
10	〃	ひよこ組	0歳児	赤石 結	弘前市	
11	〃	きりん組	4歳児	兼平 奈津美	青森市浪岡	
12	〃	支援センター		菅原 亜美	〃	
13	〃	こりす②組	2歳児	紀本 恵	〃	
14	〃	〃	〃	西塚 夏月	〃	新採用
15	〃	こりす①組	1歳児	工藤 美里	〃	〃
16	〃	ひよこ組	0歳児	赤石 真菜	〃	〃
17	〃	うさぎ組	3歳児	樋口 功子	〃	パート
18	〃	こりす②組	2歳児	山内 真理	〃	〃
19	〃	こりす①組	1歳児	鎌田 美鈴	〃	新採用パート
20	調理員	管理栄養士		小鹿 愛美	弘前市	
21						
22	嘱託医	せきばクリニック		関場 慶博	藤崎町藤崎	
23	〃	かとう歯科医院		加藤 伸生	青森市浪岡	
24	薬剤師	猪股薬局		猪股 孝司	〃	

退職

副主任保育士 退職	小笠原 祥子 (30年3月31日)	副主任保育士 退職	種市 理沙 (30年3月31日)
パート保育士 退 職(任用期間満了)	山内 優子 (30年3月31日)		

(2)健康管理

健康診断 年1回実施 (せきばクリニック)

(3)各種会議

職員会議 月2回実施	給食会議 月2回実施
------------	------------

(4)研修計画

《職員研修理念》

福祉施設における人材育成の重要性を認識し、個々の職員の研修ニーズに沿った個別研修計画の評価指導を充実させ、職員の資質向上と研修成果を日常業務(保育サービス)へ還元させていく。

①職場内研修の推進・充実

職員会議・打合せ、伝達講習等の充実を図り、園・各クラスの問題提起と解決を職員全体で認識していく。(職場内のコミュニケーション、マナー研修)

②各種外部研修に積極的に参加し、研修の復命、評価を実施し組織全体の意識の共有を図っていく。(認定こども園教育・保育要領研修、キャリアアップ研修)

6 施設事業管理

(1)園舎の整備、備品購入計画

子ども子育て支援新制度の中で、園舎改築申請を3年後に検討する。老朽化した備品の買い替え、玄関階段等の修繕を検討する。

(2)災害対策

年2回業者による火災報知機の保守点検と非常災害時の備蓄用品(発電機、電灯電池、飲料水、トイレ用水等)の準備、確認を行う。

避難訓練年間計画

月	想定	内容	月	想定	内容
4	火災	非常ベルの音を聞き、音に慣れる。	10	地震 不審者	地震の際の避難方法を知り、自ら行動しようとする。様々な不審者がいる事を知らせ、お約束や対応の仕方の再確認をする
5	地震 不審者	非常ベルが鳴ったら、近くの保育士の下に集まり、放送を聞くことを覚える。 お約束「 <u>いかのおすし</u> 」を覚え、不審者避難訓練を知る。	11	火災	乳児室から火災が発生した際の避難方法を知り、行動する。 (総合避難訓練)
6	地震	地震の際の避難方法を知る。	12	火災	子育て支援センターから火災が発生した際の避難方法を知る。
7	火災	給食室から火災が発生際の避難方法を知り、行動する。 (総合避難訓練)	1	地震から火災	地震後、近隣の自宅から火災が発生した際の避難方法を知る。
8	地震	担任以外の保育士の指示に従って行動できるようにする。	2	非常災害	色々な災害があることを知り、それによって避難方法が変わる事を知り行動しよ

					うとする。
9	風水害	災害によって避難行動が違 う事を知る。	3	火 災	避難行動を各自しっかり身 に付ける。

7 地域社会との連携推進

- (1) 一時預かりの実施。
- (2) 地域社会への保育園(社会資源)としての機能を開放、還元する。
- (3) 地域老人クラブ、老人福祉施設等の訪問交流
- (4) 中高生の職場体験活動、お掃除ボランティアの受け入れ
- (5) 地域の子育て支援のための、子育て講座等の開催
- (6) 保育実習生の受け入れ(1名)

8 その他

保育園予算は、職員待遇については、改善が図られているが、入所児童の減少、設備、備品の老朽化で厳しいものとなることが予想される。このため、その削減と資源の省エネ推進のため、必要以上の電気の消灯や室温の設定、消耗品の使用に関わる配慮等、一人ひとりの意識改革を図っていきます。